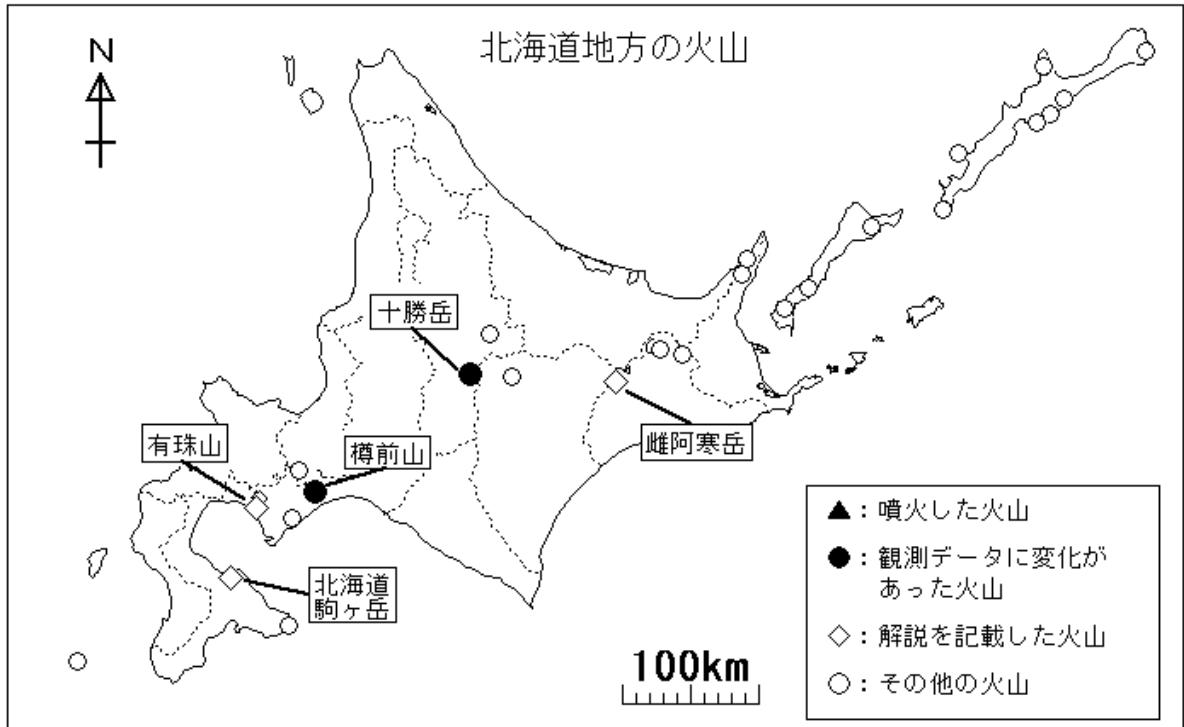


北海道地方の火山活動解説資料(平成 14 年 5 月)

札幌管区气象台
火山監視・情報センター



雌阿寒岳：今期間は静穏に経過しました。長期的に見ると時々地震が増加し火口の温度は高温を維持するなど火山活動は高いレベルが続いています。

十勝岳：5月7日に継続時間の短い小さな火山性微動が発生しましたが、表面現象等に変化はありませんでした。十勝岳では1997年以降時々微動が発生し、62-2火口は高温で活発な噴煙活動が続くなど火山活動は高いレベルを維持しています。

樽前山：5月2日と22日に実施した調査観測で、ドーム南西噴気孔群(B噴気孔群)の最高温度が昨年10月に比べて約100上昇していました。A火口では引き続き高温状態が継続しています。今期間、顕著な地震増加などは見られませんでした。樽前山では1996年以降地震活動が活発化しており、熱的活動も活発な状態となっていることから、火山活動の推移に注意が必要です。

有珠山：火山活動に特別な変化はなく、静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳：地震の増加や火山性微動はなく静穏に経過しました。噴煙活動も弱く地殻変動にも特別な変化は認められませんが、今年2月～3月には地震がやや増加したこともあり、今後も火山活動の推移を注目する必要があります。

次回、6月の火山活動解説資料は7月5日に公表します。
(札幌管区气象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>)